



題字 井口 文章
再刊 第372号
印刷・発行
錦城高等学校新聞委員会
編集室 2021

みんなでつくる
錦城高校新聞

一面…今期生徒会の公約達成度は?
女子の制服にストラックスが導入されます
二面…今年の生徒会立候補者をご紹介!
各候補者が意気込みを語る!

生徒会、この1年をどう評価?

自身の公約達成度を語る

11月10日(水)に生徒会選挙が行われるに際し、今期生徒会の任期がまもなく終了する。今号では、生徒会メンバーに1年間の活動を総評してもらい、就任時に掲げていた公約の達成度について聞いた。



左上から時計回りに錦城祭実行委員長、生徒会長、監査副委員長、監査委員長

生徒会長

生徒会長の中村心咲さん(3G)に1年間の総括を聞いた。自分の中の公約達成度は25%程だと感じています。中村さんは昨年度の生徒会選挙時に公約として、「セブ自販機の設置、女子用ストラックス導入等の制服の改善、

生徒会副会長

生徒会副会長の藤田和望さん(2F)は、今期、校則の見直しを公約に掲げていた。「携帯電話の使用ルールや朝のエレベーター使用可能時間の延長などの改正案を先生に提出

監査副委員長

監査副委員長の長岡胡桃さん(2F)は、「部活、行事の円滑な進行」と「意見箱の意見の活発な議論」という2つの公約を掲げていた。前者につ

厳正な選挙を行うために 投票時の注意点は?

投票時の注意点は?



今年の選挙の特徴を語る
選挙委員長

今年度の生徒会選挙について、選挙管理委員長の児玉ゆかりさん(2C)を取材した。今回の生徒会選挙の特徴として、立候補者同士で自身の政

また今回の生徒会選挙で、生徒会長に立候補している藤田さん。「校則改正の他にセブ自販機の設置と服装の改善は来期も引き続き進めていきたいです」と話した。

監査委員長

監査委員長の大久保摩美さん(3G)は今期の生徒会活動を振り返って「新型コロナウイルスの影響で、監査副委員長を務めていた昨年度とはお金の動きが異なり大変でした

今期生徒会の成果

2年越しの苦勞実る

ストラックス導入について生徒会長の中村さんに話を聞いた。中村さんは「錦城生の期待にこたえて、ストラックス導入を実現できたので良かった」と語る。生徒会がストラックス導入を企画し始めたのは、前生徒会長の橋本太朗さん(56期生)が生徒会長に就任したときだという。きっかけは、制服についての要望が意見箱に多く寄せられていたことと、ジェンダー問題に配慮してきたいという思いがあったことだそう。

導入までの道のり

女子生徒の制服にストラックスが追加された経緯について郷野康輔先生は「女子たちの声や時代の流れなどが背景にあり、今の子どもたちはスカート履くかストラックス履くかを自分で選べる権利を認めたい」と語る。また、先生方の職員会議の中で反対意見は特になく、スムーズに進んだそう。デザインについては「錦城の制服の

見や要望を目に見る形で実現し、積極的に情報発信してくれることを次期生徒会に期待しています。自分もその中で生徒の意見、要望に応えたいです」と話した。

錦城祭実行委員長

錦城祭実行委員長の長屋碧さん(2C)は今期の生徒会選挙で「生徒にとって楽しめる錦城祭にする」という公約を掲げていた。今年の錦城祭は感染者が急増する中で予定通り行うことが危ぶまれたが、生徒のみという形で開催。また、企画ごとに消毒液を置いて、一部企画の入場をチケット制にしたことで感染対策を徹底して行った。「異装して楽しむ人もいてみんな輝いていました」と長屋さん。公約達成度は90%とした。

将来を見据えて学部を知る

薬学ならではのこだわり

9月29日(水)に2年生を対象に学部説明会が行われた。大学の先生方から各学部の特徴や必要な知識などを教わった。

薬学の講義は、東京薬科大学薬学部の降幡知巳教授によって行われた。降幡さんの自己紹介、病院薬剤師やドラッグストア薬剤師などの「目に見える薬剤師の仕事」の説明から始まる。講義では主に「薬を創る」「薬を届ける」「薬を飲む」過程で薬剤師や薬学部出身の人が携わっている職業の説明がされた。降幡さんは「ヒトの体を知り、薬を化学物質としてとらえ、科学的な能力によって薬を創り、使われて命を救う専門家」と表現する。また「薬学部では化学や物理、生物といった理科を必ず全て使うため、嫌でもやらなくてはならない」と話した。

心の動きを社会に生かす

心理学の講義は、大正大学アドミッションセンター入試専門アドバイザーの中島敏博先生によって行われた。まず「自分は〇〇である」という文章を1分10秒以上書くという活動を実施。この活動



心理学の講義の様子

なぜそのような行動をとり、物事がなぜ起こるのかをひたすら追究する「基礎心理学」と社会に役立てることを学ぶ「応用心理学」が存在する。それを中島先生は身近な生活と関連させ、具体的な事例を挙げながら説明を行った。最後に、「辛いけど、高校生の内にやっておきたいこととして、大学のオープンキャンパスは行って城生へ向けてメッセージを送ると良いです。足を動かす」と話した。(紅・表・甘)

は心理テストの一種で、数が増えるほど、あまり他人に言わないような内面が表れるそう。心理学は「自分の周りに起きたことに対して心がどう動くのか」という学問だ。近年、医師の働き方改革が行われたことで、昔は手術や夜間出勤などで体力勝負になることがほとんどだった状況から、患者を診断する判断勝負に変わったという。また、竹口さんは「医師が他の職業と決定的に違う点は、医師でない医療行為を行うことができない点です」と話す。他の仕事は資格を持っていないと行えるものが多いが、医師は国家資格を持っていないと医師として働けない。その分、責任や高い倫理観が求められる。最後に「辛いけど、やりがいのある仕事なので、目指してみてください」と錦城生へ向けてメッセージを送ると話した。(紅・表・甘)

10月25日(月)と27日(水)の放課後にストラックスの採寸が行われた。実際に「防寒対策のために欲しいと思います」と話している錦城生もいる。ストラックスの導入はジェンダー問題だけでなく、スカートだと冬に寒いと感じる錦城生の悩みも解決してくれそう。



ぜひ申し込んでみよう

買部の方に問い合わせるか、池袋にある西武百貨店に足を運んでほしいと話した。

むらさき草

先日の政治経済の授業の中で、先生から「生徒間で選挙について話したか」と聞かれたが、クラス内で話したという回答は得られなかった。先生曰く、ふとした時に政治や選挙等について語れる友人がいても良い、とのことだったが、普段クラスでそれについて話している様子は全くない。先の衆議院選挙について総務省は全国4万6466か所の投票区の中から、標準的な投票率を示す188の投票区を抽出し、その投票状況をもとに、18歳と19歳の投票率を算出。そのデータによると、18歳と19歳の投票率は51.14%、19歳の投票率は35.04%。18歳と19歳の投票率は43.01%で、衆議院選挙の国民全体の投票率55.93%に対しては12.92ポイント下回ったが、前回の53.68%に比べて約2%上がった(総務省HPより)。しかしこれについて知っている錦城生はほんのり少なかった。本で行われる生徒会選挙についても、20人に聞いたところ、20人中15人が「興味がない、知らない」と答えた。理由に関しては「自分のことではないのでそこまで重要視していない」というものがほとんどで、あとは「別に興味を持っていない」というものも多かった。生徒会選挙に対する興味を味を持つても特に変化はないだろうからやる気が持たない」といったものもあった。選挙は国や地方の自治、学校の運営をしていくうえで欠かせないものなのに、興味を持つ錦城生は少ない。先ほどの15人曰く「学校の勉強などが忙しく、そこまで考える余裕がない」という。だが、ここまで選挙に興味がないというのはお世辞にも良いとは言えないと思う。今年も多くの行事が潰れたが「やってみたい」という生徒の声を最も明確に反映できるのは生徒会なのではないだろうか。これからの行事等の運営に関わってくるからこそ、もう少し「選挙」というものについて興味を持ってほしいのではと思った。(桜)

あなたの一票はどの候補者に？


生徒会選挙立候補者 10 人にインタビュー

- ①所属部活
- ②公約
- ③大事にしている言葉

11月10日(水)に生徒会選挙が行われる。今年は生徒会会長・監査委員長・錦城祭実行委員長は信任投票、生徒会副会長・監査副委員長は決選投票となる。今号では立候補者 10 人に立候補の理由や公約を取材した。(編集部共同取材)

生徒会会長候補 藤田和望さん(2L)


生徒会長に立候補した藤田さんは、今期1年間副会長を務めた経験を活かし「校内校則の見直し」を公約とした。具体的には、校内での携帯電話の使用ルールを挙げ「今の自分たちの使用態度を見て、先生方にもう一度考えていただきたいです」と語った。自分を一言で表すと「即断即決」だという藤田さん。「当たって砕ける」の精神で、校則改正案を思いついたらすぐに文章に起こし、先生に渡したいという。錦城生に向けて「学校生活に関する意見や要望を、もう少し気軽に先生に言ってほしいです」と呼びかけた。最後に「先生に言いつらいことを代表して言える存在になります!」と意気込んだ。(表)



- ①弓道部
- ②校則の見直し
- ③校内の携帯電話使用ルールの見直し
- ④水滴石を穿つ(うが)い


副生徒会長候補の大曾根さんは、就任したら校則の改正や始業式のリモート化に取り組みたいと話す。『やらない善よりやる偽善』という言葉のように実際に行動に起こすことを大事にしているという大曾根さんは、生徒会の活動に対し「不満を持つだけ」というのをやめて、自分自身の手で変えていこうと思いついて立候補したそう。趣味は漫画を集めることで、休みの日にはブックオフなどで漫画を買うことも多いという。錦城生に向けて「今回の生徒会選挙で校則など学校のシステムや生徒会の活動に興味を持ってもらえると嬉しいです」とメッセージを送った。(千)

生徒会副会長候補 大曾根歩人さん(2M)



- ①卓球部
- ②校則の改正
- ③始業式のリモート化
- ④やらない善よりやる偽善


生徒会副会長候補 山下実久さん(1B)



- ①ESS部
- ②各階・各教室に意見箱を設置すること
- ③努力は天才を超える

中学生時代に生徒会役員として活動していた山下さんは、自分の発した意見でより良い学校を目指したいと思い、立候補を決意したという。「副会長に就任した暁には、各階・教室に意見箱を設置し、誰もが意見を言いやすい環境づくりを進めたいです」と話す。山下さんの座右の銘は『努力は天才を超える』で、周りを羨むことなく地道に努力を続けていくことが成功への一番の近道であると考え、柔道の阿部一二三選手の言葉だそう。最後に「自分を新たに変わってくれる場所を大切に、最後まで諦めずに自分の掲げた公約の達成を目指していきます」と締めた。(金)

生徒会副会長候補 多田雄貴さん(1D)




- ①柔道部
- ②行事内でスマホを使えるようにするための意識改革
- ③Classiの有効活用
- ④まだできるのに、何故やらないんだ?

多田さんは立候補した理由について「自分の力で学校を変えてみたい、自分の力がどこまで通用するのかを試してみたいから」と話す。公約に生徒の意識改革とClassiの有効活用について掲げた理由については、代議員会の活動の中で、スマホの規制緩和についての意見が多く聞かれたこと、学校はClassiを効果的に使っていないと自身が感じたからだという。趣味は筋トレで、ボディビルの全国大会である「summer style award 甲子園部門」において最年少で5位入賞を果たしたそう。自分を一言で表すと『粘り強い』だという。最後に「自分の仕事を全うしていきます」と話した。(桂)

生徒会副会長候補 高梨恭一さん(1E)

高梨さんは「上記に挙げた公約を実現するためには生徒会役員になることが一番手取り早い」と思い、立候補しました」と語る。公約を掲げた理由については自販機の中身がお茶で一杯理まっていることに違和感があり、自販機の中身を変えることで錦城生に新たな楽しみを作りたいという。また自習室の開放時間を延ばすことでより多くの時間を有効活用できると考えたからだという。趣味は読書で主にミステリー小説を読むという。自分を一言で表すと「有言実行」と話し、錦城生に対して「言ったことに責任をもって実現していきます。応援よろしくお願いします」とメッセージを送った。(桂)

生徒会副会長候補 高梨恭一さん(1E)




- ①体操部
- ②自動販売機の中身の変更
- ③自習室の開放時間延長
- ④人生必ず辻褄が合うようにできている。だからきっと...

生徒会副会長候補 新田諒さん(1H)


趣味は読書と料理だという新田さんは「部活で培ったコミュニケーション能力と企画力が私の強みです」と話す。立候補をした動機は、もっと楽しく学校生活を送れるようにしたいと思ったことだそう。また、中学校時代は3年間学級委員を務めていた経歴をもつ新田さん。「公約達成のためには先生方の信用を築くことが重要であり、そのために先生方に考えの転換をしていただけないような体制を作りたいです」と語る。最後に、錦城生に向けて「選挙後は必ず皆さんの声に耳を傾け、任期中の公約達成を目指して頑張りますのでよろしくお願い申し上げます」と呼びかけた。(歩)

生徒会副会長候補 新田諒さん(1H)



- ①放送部・文芸部
- ②通学カバン・自由化
- ③パーカー等の着用自由化
- ④ストラップのデザイン変更
- ⑤携帯使用の自由化
- ⑥七転び八起き


監査委員長候補 長岡胡桃さん(2F)



- ①無所属
- ②生徒の要望を反映させるためにアンケートを実施し、そこで寄せられた意見に「監査委員だより」で回答すること
- ③努力は時に才能を超える

長岡さんは立候補の理由を「監査副委員長を務めた前期の経験と反省を活かし、生徒が過ごしやすい学校を自分が主体となって作りたいと思ったからです」と語る。公約に掲げているアンケートは「意見箱に寄せられた意見に対して全校生徒がどう思っているか」を調査するものだという。これまで意見箱に何枚か同じ内容の意見が寄せられていたことから、全校生徒がどのくらい同じような意見を持っているのかを調べるのが目的だそう。最後に長岡さんは「さらに生徒の意見を取り入れられるように様々な意見と向き合いながら、先生方への働きかけや校内への情報発信を行っていきたくです」と意気込みを語った。(香)

監査副委員長候補 三浦一真さん(2E)




- ①無所属
- ②即席製の自動販売機を設置すること
- ③雲の上はいつも晴れ

監査副委員長に立候補した三浦さんは現在HR委員会に所属している。三浦さんは「HR委員は主にクラスののことを考えて行動しないといいますが、私はクラスだけでなく学校全体を見て、錦城をよりよくしていきたい」と立候補の理由を話す。また、中学校時代に生徒会に所属していた経験も活かしていきたいそう。公約は錦城生が売店の商品を買えなかったときの選択肢を増やすために、即席製の自販機の設置を掲げている。監査の仕事に関しては「部活に入っていない自分だからこそ、各部活の収支を公平に見ることができると思います」と意気込みを語った。(紅)

監査副委員長候補 加園鈴也さん(1K)

「多くの生徒の意見を様々な方法で活かしていきたい」とClassiの活用を推進している加園さんは、中学校で3年間学級委員を務めていた経験をもつ。その際にクラスの問題を仲介して解決に努めたことや理不尽なことを経験したことなどから、これからの生徒会の案件に着実に向き合い、より公平な立場で私情を挟まず的確に予算を判断していきたいそう。また、趣味は読書と野球観戦だそうで福岡ソフトバンクホークスの熱烈なファン。最後に「分からないこともあるとは思いますが、監査委員長の背中を見て自分も1年間成長して行こうと思いますのでよろしくお願い申し上げます」と呼びかけた。(歩)

監査副委員長候補 加園鈴也さん(1K)




- ①無所属
- ②Classiを使って生徒の意見を集める
- ③失敗することが悪いのではなく、失敗から逃げるのが悪いこと

錦城祭実行委員長候補 中山温仁さん(1A)

今年の錦城祭実行委員であった中山さんは「今年の錦城祭はコロナ禍で様々な制約が課され、不完全燃焼になってしまったと感じています」と語る。そこで来年は各々がさらに良いパフォーマンスを発揮できるように改善し、厳しすぎず緩すぎないルールを作りたいそう。また、公約である意見箱設置の理由は「錦城祭に対する実行委員会と生徒の認識の違いを無くしたい」と思ったからだという。自身の長所を、周りの意見を聞いて取り入れることができることだと語る中山さん。最後に「今年の実行委員で学んだことを活かし、来年の錦城祭を盛り上げたいです」と意気込んだ。(香)

錦城祭実行委員長候補 中山温仁さん(1A)



- ①軽音楽部
- ②意見箱を設置して、そこで出た錦城祭に対する生徒の意見に回答し、実際に反映させていくこと
- ③真面目にふさげる


11月4日(木)	11月2日(火)	10月27日(水)	10月26日(火)	10月13日(水)	10月8日(金)	10月6日(水)	10月5日(火)	10月4日(月)	9月24日(金)	9月15日(水)
代議員会	合唱祭実行委員会	代議員会	選挙管理委員会	代議員会	修学旅行実行委員会	代議員会	修学旅行実行委員会	選挙管理委員会	選挙管理委員会	体育学芸委員会

大会報告募集中!

部活動や個人で出場した大会の成績やその結果を募集しています!また、その他に記事にしてほしいことがあれば、7階生徒会室またはお近くの編集委員まで! 新聞委員会編集部

生徒会立候補者、挨拶運動を実施

10月28日(木)から11月10日(水)までの、日曜日・祝日と模試のある11月1日(月)を除く10日間、生徒会選挙に向けた挨拶運動が、昨年度と同じく行われている。朝7時55分から8時15分までの20分間、生徒会選挙立候補者が昇降口付近に立ち、登校してくる錦城生に向けて挨拶をする。錦城生はそれに対して挨拶を返したり手を振ったりするなどして応える様子が見られた。(鳥)



新しい自動販売機が登場!

2号棟1階、食堂前のプリンター横に新しい自動販売機が設置されました!ミルクティーやコーヒー、ジュースなど豊富な品揃えになっています。ぜひご賞味あれ!

